

6. 感想 ～活動を通じて～

《人間環境大学》

【よしき】

まさかの卒業生で参加、更にグループリーダーという…。こうなってしまったのには色々理由があり、もしかしたら僕のグループは解散していたかもしれなかったのですが、結果的に解散しなくて良かったと思いました。

今回は今までより新規メンバーが多く、彼らの表情を見ていると自分が初めて参加をした交流会を思い出しました。不安を抱きながら始まり、けど最後には涙で終わる。そんな交流会がこれからも続いてほしいなあ。ルーガン。

【しんぷる】

いやあ～、今回は経験した4回の中で一番暑かった！毎回、笑いあり涙あり、ルーガンありと色々なことが起こるこの交流会。感情がたくさんあふれ、たった1週間程度なのに最後には「涙を流す」場面があるということは本当に素晴らしい。どう言葉に表すかは人それぞれですが、涙を流さずとも、交流が終わったときになにかしろの「達成感」をみんな味わっていることでしょう。

僕なりにこの達成感が何なのか、これまでの交流から考えましたが、この交流会には、「他者と関わり合う・理解し合う」ということの大切さが詰め込まれていると思います。

辛苦了。多謝。

【わっこ】

交流に参加の皆様お疲れさまでした。とにかく今年は暑かったね！

思えば1年生からパーフェクト参加しています（笑）。

今回は特に人間環境大のメンバーはニューフェイスが多いということから、始まるまでの不安がとても大きかったと思いましたが、何回も回を重ねた事前ミーティングにより、何とかスタートにこぎつけました。ことばの壁にぶつかって悩み、苦しむという不安をいっぱい抱えたままで交流が始まりましたが、いざ始まったら記録的な猛暑日の続く中、クーラーのない部屋で、言葉の壁を乗り越えて、ともに笑い、ともに楽しみ、ともに考えて、最後には別れが寂しくなって涙するという感激の結末を今回も迎えてしまいました。

これはきっと学生主体の活動という貴重な経験を乗り越えて、有意義な協働生活を送った結果なのでしょね。

また、この活動は決して楽なことばかりではない活動です。事前の準備や買い出し、最終日の片付け、搬送するゴミのことなど、辛くて嫌になる事の方が多い位です。でも何故か続けていられるのは、この活動には何だかとても魅力があるからなのです。

特に今回の私は、買い物や食事の割り振り等で、グループ活動に十分に参加できなかったことや、全員との交流が不十分だったこと等、反省するべき点は沢山ありました。

学生の立場と社会人の立場という両方の立場から、この交流を終えて感じたことは、活動中、超猛暑日であったのにも関わらず、事故もなく、病人や怪我人も出ず、皆が健康に過ごす事ができ、皆の笑顔が絶え間なく続いていた。ということが自分の中でとても嬉しく感じられたことでした。

来夏の交流にはもう卒業なので参加できませんが、“必ずこの交流を継続させて欲しい”とこの活動を後輩に託したいと思います。

【じゅん】

私は今回が初参加で、参加のキッカケも文野先生の目に偶然止まりなんとなく参加を決め、台湾について何もわからず交流前日は非常に不安でした。しかしいざ交流が始まると参加者はとても良い方ばかりで、優しい先輩に頼りになる後輩、一緒に馬鹿騒ぎする男性陣との一週間は一生の思い出です。交流を通じ台湾への興味と言葉の通じないことの難しさ、そして参加者全員での一体感を感じ、参加して非常に良かったです。

【ぺい】

台湾交流に初めて参加し、ものづくりのリーダーを務めた。全くの不慣れであり、初めての経験だったこともあって不安が大きくどうすれば良いのかと悩むことも多かった。初めてグループが集まった時も言葉数が全く無く心配だったが、一緒に食事をし、川で遊び、活動を重ねるごとにいつの間にか打ち解けていた。最後は家族のように親しみの気持ちに変わっており、無駄に過ごす時間が無く非常に有意義な時間を過ごせたと思う。

【くー】

初参加かつグループリーダーで、どちらかという初対面の人とかかわるのがとても苦手なタイプだったので、正直最初は不安しかなかったです。取材のアポイントメントは自分で取ったものの、活動直前にバタバタして、グループ活動の調べものなどもほとんどほかのメンバーにお任せする形になってしまっていて非常に心苦しく思っていました。

しかし、そんな私でも皆でグループ活動を作り上げられたことは、いい経験になりました。炎天下の中で少しダウンした人はあれども、大きな怪我や病気もなく交流会も無事に終えられたことに安堵を覚えています。

【ジロー】

振り返ると辛かったこと、不安だったことも楽しかったと感じていた自分がいました。グループリーダーさんや全体のリーダーさん等、私よりとても辛くて不安だった人もいます。ですがそのことも含め皆のいい思い出になればいいなと思います。他大学、台湾との交流は、知らない人と話す事が大学に入って以来でとても緊張しました。ですが皆さんとても優しく楽しい人ばかりで時間があっという間に過ぎていました。

この体験をこれからの自分の一つの糧にがんばりたいです。最後にこの交流に関わった人に感謝しています。ありがとうございました!!

【さぶ】

もともと私はこの交流に参加するのが遅くあまり深い説明を受けずに活動を迎えました。イメージも無理やり固めてしまった感じで MT などは特にみんなが話している内容をとにかく自分の頭で想像する事ぐらいしかしていません。すごく不安な気持ちで交流日を迎えました但实际上に体験してみると「楽しい」という言葉しかできないぐらいとても貴重な時間を作ることが出来ました。やはり初めは台湾側に話しかけると言う事が億劫だった部分があるのですが徐々に自然と会話が始まるようになり台湾の言葉やスポット、おいしい食べ物等色々教えて貰いました。楽しかったです！みんなありがとう！

【まい】

リーダーという立場での参加で、去年の夏交流とはまた違った目線で参加する事が出来ました。いろいろ活動前の段階から不安な点多かったのですが、いざ活動が始まると改めて交流は楽しいなあと実感しました。普段は人見知りが多い私が、交流中では初対面の人とも普通に話す事が出来るので、台日交流は不思議な空間であり特別なメンバーなのかなと思います。それと毎回準備段階の時から思うのですが、台湾の子に対して自分の気持ちを伝えようとして四苦八苦し、そして伝わった！っていうときの感覚は堪らないです。

【もさく】

今回初めて係わってみて、わたしにとってこの行事は何だったのか、まだ整理がついていない。忙しくて、しんどくて、年齢の隔たりが気になって、みなさんと共有できたものが少なかつたかも知れないと思っている。若い人たちの何のこだわりもなく親しんでいる様子を眺め、うらやましく思った。自宅で飼っている犬を毎朝散歩させるために、毎晩帰宅したためかもしれない。一緒に宿泊していたら違った感慨を持ったかも知れない。

いま整理のつかないこの気持ちを来年2月頃にある台湾での交流に参加して確かめたいと思う。

【しげちゃん】

初めての台日交流、僕は不安でした。僕は人付き合いが得意なタイプではありませんし、情緒不安定です。ではなぜ、この交流に参加しようと思ったかと言うと、前述のことを克服したかったからです。

結果は、克服はできなかったものの、友達がたくさんでき、自分に自信がつけました。台湾の学生の皆さんはとても暖かく、また、日本の学生のみなさんも優しい人ばかりで、とても親しみやすかったです。交流が終わったあとは、とても清々しい気分でした。

次回の交流も、ぜひ参加したいと思っています。台湾に行くのが、とても楽しみです。

《九州産業大学》

【ふみか】

私は今回ものづくりグループで、伝統工芸品をつくる職人さんへのインタビューで貴重な話が

聞けてとても満足しています。二人の職人さんに話を伺ったところ、二人とも伝統工芸を続けるための考え方が全く正反対で興味深かったです。一人は新商品の開発、もう一人は昔ながらの製法を変えないというもの。そのどちらも共感・納得できるものでした。私は伝統を守るには、その方法よりも守っていこうという意志の方が重要なのかもしいかなと考えました。

グループ活動はスムーズに進んだと言えないものだけど、結果的にとても良いものになったと思います。ものづくりグループ最高です！

《東京女子大学》

【ヘンリー】

今年の夏はいつもより熱く、冷房環境のない生活を全員で過ごすことは、一種の修行のようにも感じました。今回は、去年より人数が増えたので、全員を覚えきれるかどうかという点に不安がありました。しかし毎度のことながら、始まってみると楽しく、大勢でも新しい関わりが持てて面白かったです。グループ発表もそれぞれ関心を惹く内容でした。質問コーナーはそこまで頑なに切らなくてもよかったですかなとも思います。この活動は、いつも新しい発見があるので好きです。熱い中お疲れ様でした。

【うえ】

三回目の参加となりました。その三回それぞれに勿論良さはあるのですが、今回は全体の雰囲気も良く、滞りなく進んだように感じました。グループでの活動がメインでしたが偏ることなく、みんなと交流できたかな?とっております。あと、グループが良かった。掛け値なしに、楽しかったです。お疲れ様でした！

《愛知大学》

【アンジー】

初めて参加したのですが、とても面白く良い人ばかりで充実した1週間が過ごせました！また、台湾の子達とも少々言葉が伝わらないことなんて全然気にならないほど仲良くなれてよかったです。グループ活動では普段話す機会がない職人と沢山話ができて、また今まで知らなかった新しい発見が多くありました。この交流会に参加して良かったです。春の交流も是非参加したいです。ただ、交流期間中暑すぎでした。

【ごう】

今回の交流会は2回目に参加しました。夏は初めてでした。お寺が意外に遠かったし、周辺にも何もなかったので、ちょっと不便だったと思います。

交流会の間に、日本の天気はかなり暑かったです。ニュースによると、熱中症で死亡した人もいたそうです。今回、宿泊先のお寺はエアコンがなかったので、多くの人が熱中症しました。本当に危なかったと思います。次回、この点をもう少し考えてほしいです。

最後、海外に行った時、パスポートを必ず身に付けてください。貴重品を紛失した場合等の時には絶対役立ちます。

【ゆみ】

今回ははじめてこの台日交流プログラムに参加しました。最初は不安で、忘れものも沢山したので途中で何度も帰りたいと思ったこともありました。しかし、活動中に、みんなが仲良くしてくれて、おかげですごく楽しい一週間で過ごすことができました。また今回の活動で今まで知らなかった岡崎のいいところを知り、岡崎はいいところだと改めて思いました。このプログラムに参加してよかったです、また台湾での交流プログラムにも参加したいです。

【ばるりん】

台日交流会に参加して、何よりも嬉しかったことは、たくさんのステキな人たちに会えたことです。たった1週間で、こんなにたくさんの仲間ができたことは今までありませんでした。言葉の壁は確かにあります。しかし、だからこそ、いつもより丁寧に自分の気持ちを伝え、自分の気持ちを受け取り、もっと仲良くなろうとする雰囲気はとても心地よかったです。ここでの出会いに本当に感謝しています。

【まいまい】

私は今回の夏の台日交流が初めての参加だったので、当日を迎えるまではとても不安でした。しかし活動を終えた今では、参加して本当に良かったと思っています。国籍にこだわらず交流を深めるという貴重な体験が出来ました。また、グループ活動において酪農という生活に身近なテーマについて調べたことは、普段は気にしないようなことを改めて考えてみる良いきっかけにもなりました。短い期間でしたが、とても楽しい時間を過ごせました。

【もも】

今回ははじめての参加で分からないことや不安に思うことが多く、最初は些細なことで戸惑ったり心配したりすることがありました。最初に人間環境大学のメンバーと初日に紹介しあったとき、笑顔で話してくれて、それまで不安に思っていたことが徐々に解消されていきました。台湾や他の大学のメンバーも面白くて優しく、活動中もお互いに助け合い、笑いあうことができとても充実した合宿になりました。台湾の子達は日本語がとても上手で、話しかけても笑顔で答えてくれたり、暑いときにはうちわであおいでくれたりと、優しさを感じました。みんなに出会えて本当によかったです。

《東海大学》

【ビッキー】

今回も参加できて本当によかったです。今回は三回目なのですが、毎回も毎回もいい勉強ができました。今は少し、去年の夏のビッキーと違う様子になりましたかな？もっと元気な顔で皆に見せたくて、もっともっと自分のできることがあれば、一度挑戦してみようと思いますので、リーダーの役を担当しました。

初めてリーダーとして、最初は不安が出て来て、たくさんの心配もありましたが、私は、皆がそばにいてくれるだけで、心が落ち着きました。本当に自分はやっと勇気を出さないと、何も

できなくなってしまうと、思いました。ですから、皆様、日本人のメンバーも、台湾人のメンバーも、ありがとうございます！皆とお友達になって、一緒に素敵な思い出を作ってもらえるのは、私にとって一番幸せなことですよ！

また皆様と会いたい！来年の春！

【かおり】

交流会に二回目参加すると、台日交流会に不思議なパワーがあると思います。参加したことがあります、また何回も何回も参加したいという気持ちを持っていますから、活動の間で聴いて分からない言葉がたくさんありますが、ほかのメンバーに助けてもらったので、皆と一緒に頑張ったら、どんな問題も解決できるものだと思います！！

今度の活動で日本のことをたくさん見たり、体験したりしました。外国へ行って、いい仲間達と会って、同じ目標のため頑張っていて、一生忘れない思い出を作りました。

その中には、一般人が一生出会えないことがたくさんあります。こういう経験を持っていて、幸せです！

【じゅんこ】

今年、すごく暑かった。今回の活動・旅行でたくさん自分の不足が発見した。ちょっと悲しいけど、心の中に「負けれない」という考えがいっぱいあった。能力の不足は事実だから、頑張らなければいけない。今の私がまだ皆と上手にコミュニケーションできないけど、皆はいつも優しく手伝えてくれて、本当に感動している。昔の活動と比べて、今回の活動で、皆の仲がもっといいと思う。毎日皆と一緒に遊んで、一緒に研究して、一緒に笑って、すごく楽しかった。皆のおかげで、こんなにすばらしい思い出をもらった。

【こくけん】

無意識に先輩になった私にとって、実は今回の活動は色々な問題点があります。

準備時間が短かったし、グループのテーマの準備もうまく進んでいかなさそうだったけど、ただし最後活動にして、毎グループのテーマのこともうまく進んで行き、皆も仲間にしておきましたので、活動の前に心配していたことも無事に終わりましたから、私は「この活動は、活動だけではなく、活動が終わっても皆も家族にみたい感じでずっと交流する」ということを言いたいです。

【ひろみ】

これは私が最初にこの活動に参加して、参加のまえにこの活動のことを伝え聞いたことがあって、とても苦しいことなどをするという話があります。でも実際に参加の後は、多くのものを獲得しました。知識を除いて、さらにうれしいものは多数の日本の友人を認識しました。台湾に帰ることに至ることは本当に日本を離れる実際の感じが同様になくて、ずっと全てまだ自分が日本で居残ると感じて、居残りが寺院にあります。この短い6日に、みんなはいっしょに遊ぶことを経て、会議、入浴して、食事、掃除、ご飯を作って、全て自分が早く慣れなければいけなかった

と感じます！

しかし完全に認識しない人といっしょに生活が要ってとてもシャイと感じ始めて、特にまた言語にそれほど通らない状況のもとで、ただゆっくりと付き合い下げることで、異常なものが気晴らしするほど毎日全て過ぎる。

今回交流に参加した思い出を、私は絶対に忘れないです。同時に自分が勇気を出すことが、この活動に参加することを感謝して、本当に私に非常に異なった経験を与えてくれました。

【けいぶん】

今回は二回目活動を参加しますが、日本へ行くのは初めてです。さまざまな日本のことを学びました。特に、この活動のお陰で台湾と日本のB級グルメについて詳しく分かりました。そして、自分の意見が前回よりうまく言えるようになりました。新しいメンバーも優しいし、簡単な単語で私に説明してくれるし、本当にありがとうございました。発表会の時、私は緊張していましたが、結局うまく行ってよかったです。この六日間、楽しく過ごしました。皆さんのことを忘れないと思っています。

【ゆみ】

今回は始めて台日交流活動に参加して、皆と一緒に楽しく過ごした十日間は、今まで思い出すと、幸せを感じる！実は活動の前に、自分の能力を疑うので、毎日心配していました。「上手くできるだろうか？」ということに困っていて、全然自信がありませんでした。

しかし、日本のみんなは親切で、何か分からないことも簡単な日本語でゆっくり説明してくれました！本当に感動しました！活動の間に、毎日疲れたが、テーマを研究して、皆と一緒に様々な面白いことを学べること、うれしいでした。

たくさんことを全部言えないけれど、心から感謝します。本当にありがとうございます。時間があれば、ぜひ春の活動に参加します。また来年～！

【しおり】

今回は二番目台日交流を参加しました。でも日本で活動は初めです。今回私のグループは地域と歴史です。私は日本の戦国時代は好きですから、このテーマを選べました。

でも今回の活動は前回よりもっと難しいとおもいました。今回私のグループの台湾のメンバーは全部一年生でした。私と玉ちゃん今回は二番目の経験者でしたが、前回と違う、先輩達の手助けがありませんでしたから、本当に大変でした。活動前のミーティングはいろいろなコミュニケーションの問題がありました。たくさんの誤解もありました。あの時本当に緊張しました。でも工藤先生と日本のメンバーたちの御蔭でやっとこの問題は解決しました。本当に感謝しています。

8月6日活動を始めました。今回の活動は本当に楽しかった。毎日美味しい食べ物がたくさんありました、毎日お腹がいっぱい本当に幸せです。そして歓迎会、BBQ、グループ活動、送別会も全部楽しかった。初めての夏台日交流は本当に最高でした。毎回台日交流の活動前の準備は大変でしたが、活動中の楽しいことと較べて、この大変のことはそんなに大変と思いませんでした。そしていろいろお世話になりました、本当に感謝しています。

【たまちゃん】

初めて日本へ行きますね、とても楽しみです。参加することを決めた時私はそう思いました。

ですから、私は行く前によく勉強する方がいいと思っています。テーマは地域と歴史ですから、学校の図書館で色々な日本の歴史について本を借りました。グループも Skype 会議でよく相談しました。岡崎や徳川家康を少し知って、ですからもっと面白いと思いました。日本へ行きますとき、とても綺麗、便利、人が有礼でも親切です。文化、台湾と違うところもう沢山あります。行く前の調査と行ったあとでの理解、本当によく勉強しました。今回、この経験を私にくれて、とても感謝です。

【あいよう】

今回は私の初めて台日交流活動です。最初すごく緊張していましたが、グループの皆は親切で、わからないところも私に説明してくれました。私の日本語はまだたどたどしい。でも、皆は私を笑わないで、本当に感心しました。

自分たちで作った食べ物も美味しくて、皆で一緒にごはんを作るのは面白いと思いました。毎日疲れても、いつも笑っていました。最後の日、みんな熱心に私たちを案内して、本当に疲れしました。私達がどこか行きたいところがあったら、一生懸命案内しました。とても大変と思います。今回の活動に参加したのはよかったと思いました。たくさん知識をもらって、友達も作りました。そして、来年の春も参加したくて、日本の皆ともう一度会いたいと思います。

【ようか】

私は始めて台日交流に参加しました。それに、今回も私が始めて日本へ行きました。とても楽しかった。

この活動の間色々な所を見学しました。例えば、岡崎城とか八丁味噌とかへ行きました。そして、日本と台湾のPRする方法を比べて調べました。日本語はまだ上手に成りましたから、とても大変だと思いました。でも、日本の皆さんは簡単な日本語で私達にゆっくり話してくれました。それなら、私達は日本語が理解できました。本当に助かりました。

この活動に参加して、日本語が上手になることもできるし、日本の文化をちょっと分かることもできるし、日本の友達もできるし、本当に意義がある活動だと思いました。

もしこの活動にもう一度参加することができるなら、必ず参加します。

【しんよう】

この活動の数日に、私はいろいろな所へ行ったり、いろいろな事をしたり、そしてたくさん友達もできました、いい経験でした。

私の日本語はあんまり上手じゃなくて、緊張すぎですからうまく喋れません。でも日本の方は皆優しくて、私にわからない事を教えたり、案内したり、ゆっくり話しました。

とても嬉しかったです。この活動はほんとに面白いし、楽しかったです。この活動に参加したのは、本当によかったです。次回の活動も参加したい、楽しみです。

【マコ】

初めて Skype で会議をする時、すごく緊張しました。“何をするか、もし分からない所が多いなら、どうする。話したい言葉がうまく話すか。”こんな悩みがありました。交流会に参加する時、話すことは難しかったと思った。でも、グループ活動をしながら、だんだん日本語を喋られた。本当によかったです。

そして、一番幸せ時はご飯を食べるときです。日本の食べ物をいっぱい食べられます。美味しかったです。グループで味噌工場に見学する時、いろいろな知識をならいました。例えば、八丁味噌の作り方。この活動で、日本の生活を体験する事ができます、それは、観光的な旅行が出来ないことです。交流会のメンバーと玉滝溪谷で BBQ をしたり、川で遊んだり、暑いけど、私にとって素晴らしい思い出でした。

発表の PPT を作る時、大変だった。私はまだ一年生ですから、リブラで資料を探すことはあまり出来ません。でも、先輩と一緒に頑張りました。ちょっと厳しいけど、沢山新しい単語をならいました。この活動に参加するのは良かったです。

【ちくいん】

初めて台日交流この活動聞いたときはルームメイトからです。あのとき、彼女は毎晩 Skype で会議をしました。わたしは彼女を見てそのころからの努力を見ました。でも、今のわたしがなぜこの活動にいるのかという原因は彼女の影響かもしれません。

最初、この活動になにをしているは全然わかりません。でも、先輩がずっとわたしに説明をくれました。Skype で会議をしたとき、緊張の気持ちと嬉しい気持ちも持っています。うれしいのはわたしもこの活動の一員になりました。

活動のおかげでわたしは日本へ行く機会がありました。活動のお寺はクーラーがないですが、綺麗な環境とみんなが笑っている顔がその天気の暑さは活動の熱情になりました。今回活動のグループはものづくりです。グループの皆は優しいです。インタビューのとき、職人さんが言ったことはほとんどわかりませんが、一生懸命職人さんが話す言葉を聞いて、わかる単語をノートに書きました。お寺に戻った、グループ会議のとき日本のメンバーは職人さんのインタビュー内容を簡単な日本語でわたしたちに説明してくれました。ほんとに感謝します。

わたしは今回の活動でいろいろなことを勉強しました。伝統工芸について、職人さんの考え方と一般人の考え方。そして、いろいろな人に会って、友達になったことはほんとにうれしかった。

台日交流に参加したことは大切な経験なんです！来年の活動を楽しんでいます！

《教員から～》

【QP先生】(人間環境大学)

今回の活動には3つの「すばらしい！」がありました。

1. 記録的な「チョー猛暑」に全員が負けなかったこと。40度以上の記録的猛暑の中、エアコンなしでフィールドワーク、よくやりましたね。今回の参加者、生きる力(サバイバル能力)ばっちりだということが証明されましたね。
2. グループも全体も、コミュニケーションがばっちりとれ、理想的な「協働学習」ができたこと。活動直前までの不安が吹っ飛びました。みんなが力を合わせたおかげですね。
3. おいしいご馳走がみんなに力を与えてくれたこと。へとへとに疲れているのに買い出しに走ってくれたわっこさん、限られた食材を使って何品も作ってくれたシェフたち(今年は素晴らしいシェフ揃いでした)、手作りの野菜や料理を毎回持ってきてくれたモサクさん、ありがとう。それに、シェフを脇で支えたスタッフたちの手際よさも光っていましたね。きびきびと働く若者を目の前にし、未来に光を見出しました。

みなさん、ありがとう！

【はなちゃん先生】(人間環境大学)

「暑さ(熱さ!)と伝えるということ」

酷暑のなか、若い情熱に溢れた交流ができたことを、とても嬉しく思います。

交流の後のこと。小学校2年生の甥が、小学校1年生に手紙を書いていました。手紙を見ると、漢字には「ふりがな」がありました。甥によると、1年生の子は漢字が読めないだろうと思ってふりがなをつけたと言うのです。その時に、思いました。相手に伝えるということは、こういうことなのか、と。相手の立場に立って、相手がわかるように伝える。交流では、このことがみんなに共有されていたように思います。

この経験を糧に、これからも相手に「伝えるということ」について、考えていきたいですね。お互いに。

【せっちゃん先生】(東海大学)

「暑い夏の思い出」

今年の岡崎は猛暑で風のないお寺での生活はさすがに参りました。

でも、みんな熱中症にもかからず、なんとか合宿を終えられたのはいろいろな方々のおかげです。

環境大の職員の方々、OBの皆さん、そして佐藤先生のご主人にもアイスを差し入れていただきました。わっこさんには、大量の食糧の買い出し、暑い中台所で陣頭指揮をとっていただき、車を出してくれた皆さんのおかげで、移動も可能になりました。布団もお寺に運んでもらって皆で合宿ができました。この活動は多くの方々の善意と大きな働きに支えられています。いつものことですが、本当にありがとうございました。

活動について言えば、この活動は地域やフィールドに関係した「人に会う」ことが大事で、そ

ここで感じたことを共有することがグループの学びを豊かなものにすると思います。

次は東海大でみんなが再会できますように。

【梅ちゃん先生】(愛知大学)

みなさん、今年もまたアツい夏でしたね。

そして、今年もアツい交流(アツいBBQ?)でした。

私は今回最後まで見届けることができず、とても残念でした。

でも、きっとアツい友情が生まれたと確信しています。

ところで、この活動はかなりグループの裁量が大きく、いつ、どこで、何を、などなど各グループがかなり自由に決め、かなり自由に行動していますよね。

それがこの活動の楽しい部分であり、辛い部分だと思います。

何がつらいのかと言うと、活動がうまくいったかどうかを一番よく知っているのが自分たちであるということです。

自分を許してしまうこともできるし、許さないこともできます。

自由ってなんて辛いんでしょう。でも、それが楽しいんですね。

そして、なぜか中毒のようにまた来年、また来年と繰り返し参加してしまうんですね。

私もその中の一人ですね。(先生って卒業しないからずるいね!)

【よっしー先生】(愛知大学)

「台日交流って何だろう?」

今回、愛知大学の学生と一緒に台日交流に初めて参加させていただきました。まず、参加するにあたり連絡は Facebook を通すという説明を受けました。Facebook を通して台日交流をどのようにするのだろうというのが私の台日交流の第一印象でした。

その後、岡崎の龍溪院でみなさんと寝食を共にしながら、フィールドリサーチの活動報告や成果発表を聞くという一連の活動に参加してもらいました。朝から晩まで、フィールド調査、発表の準備だけでなく、炊事や掃除といった過密スケジュールを猛暑の中でこなしていくというこの活動は大学のゼミ合宿や体育会系の夏合宿よりも過酷で、心身に負担のかかることなのかもしれません。しかし、フィールドリサーチをやり遂げた、この過密スケジュールを乗り越えたという達成感が、後々、みなさんの自信やこの交流に何度も参加したくなる魅力に繋がっていくのでしょう。

「台日交流は参加してみないとわからない。」という言葉を合宿初日に文野先生からかけられました。

しかし、参加してみてもまだまだ分からないことだらけです。理解するためにまた参加したいと思うのは、台日交流の魅力に取りつかれてしまったといえるのかもしれません。